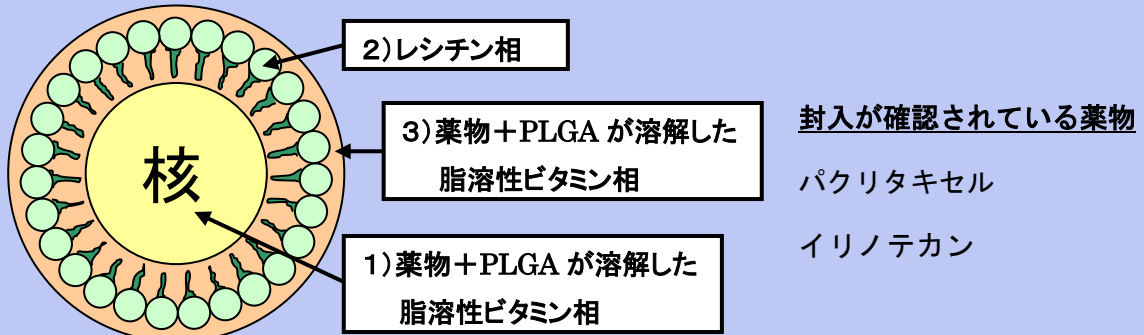




薬物徐放出性微粒子及びその製造法

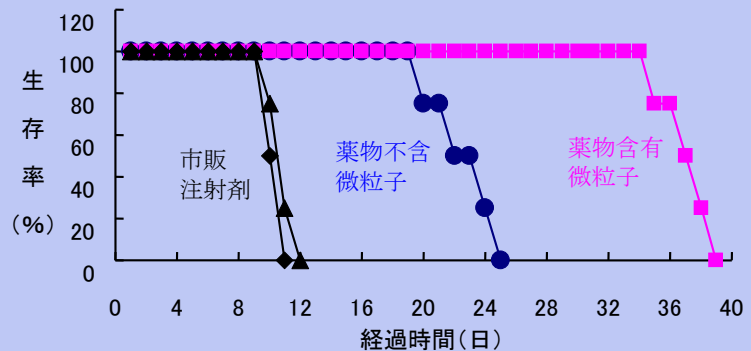
キーワード エマルジョン、脂溶性薬物、抗癌剤、腹腔内投与、副作用軽減

研究内容の概要: 生体に安全な材料を使用し、封入率を改善できる薬物徐放出性微粒子の製造法を開発しました。



腹腔内投与後の生存率

腹膜播種の担癌マウスに 5日毎に1回、計4回 パクリタキセルを投与したとき、



特長／効果

- 薬物の封入率と導入率を高めることができる。
- 注射剤中に含有されるクレモホールによる重篤な副作用を回避できる。
- 腹腔内投与すると、薬物の血液移行を抑制できる。

利用／用途

- 薬物送達システムの担体に利用できる。

知的財産権等情報

特許出願	特開 2006-206455
論文等	編

薬学部 医療薬学科 谷野 公俊

URL: <http://www.phar.kindai.ac.jp/biopharm/>

連絡先: 近畿大学 リエゾンセンター (KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

TEL: 06-4307-3099 FAX: 06-6721-2356

E-mail: klc@kindai.ac.jp

URL: <http://www.kindai.ac.jp/liaison>